

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】令和5年12月7日(2023.12.7)

【国際公開番号】WO2022/091495
 【出願番号】特願2022-558855(P2022-558855)

【国際特許分類】

G 0 1 L 1 / 1 4 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

G 0 1 L 1 / 1 4 J

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月29日(2023.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

一对の導体線13は、X軸方向に延びた1本の導体線を折り曲げるにより形成され、折り曲げ位置からX軸負方向に向かって延びた2本の導体線13aを含む。一对の導体線13を構成する2本の導体線13aは、所定の間隔をあけて並んで配置される。一对の導体線13は、図1(a)に示した3つの導電弾性体12の上面に重ねて配置される。ここでは、3組の一对の導体線13が3つの導電弾性体12の上面に重ねて配置されている。3組の一对の導体線13は、導電弾性体12に交差するように配置され、導電弾性体12の長手方向(Y軸方向)に沿って、所定の間隔をあけて並んで配置されている。一对の導体線13は、3つの導電弾性体12に跨がるよう、X軸方向に延びて配置される。導体線13aは、線状の導電部材と、当該導電部材の表面に形成された誘電体とからなる。導体線13aの構成については、追って図3(a)、(b)を参照して説明する。

20

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0069

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0069】

導電弾性体12、22をグランド(GND)に接続し、2つの線材31を互いに接続した。図8(a)のように設定した荷重センサ1を固定台に設置し、基材21の上から繰り返し荷重を付与した。そして、荷重を1000回、2000回、3000回、4000回、5000回、10000回付与した後、荷重の付与時に線材31と導電弾性体12、22との間の静電容量を測定した。

30

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0085

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0085】

実施形態2では、実施形態1と同様にして、誘電体32が線材31の表面に形成され、誘電体32には、実施形態1と同様の間隙41が形成される。そして、この間隙41に、誘電体32よりも弾性が高い(誘電体32よりも弾性率が低い)他の誘電体42が、たとえば電着処理により形成される。他の誘電体42は、たとえば、樹脂材料により構成され

50

る。他の誘電体 4 2 は、ポリプロピレン樹脂、ポリエステル樹脂（たとえば、ポリエチレンテレフタレート樹脂）、ポリイミド樹脂、ポリフェニレンサルファイド樹脂、ポリビニルホルマール樹脂、ポリウレタン樹脂、ポリアミドイミド樹脂、ポリアミド樹脂などからなる群から選択される少なくとも 1 種の樹脂材料である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 5】

10

図 1 2 (a) は、導体線 1 3 a が延びる方向に垂直な方向から撮像した場合の導体線 1 3 a 表面の画像である。図 1 2 (a) において、非常に小さい微細孔 4 3 の開口が、誘電体 3 2 の表面に並んで形成されていることが分かる。

20

30

40

50